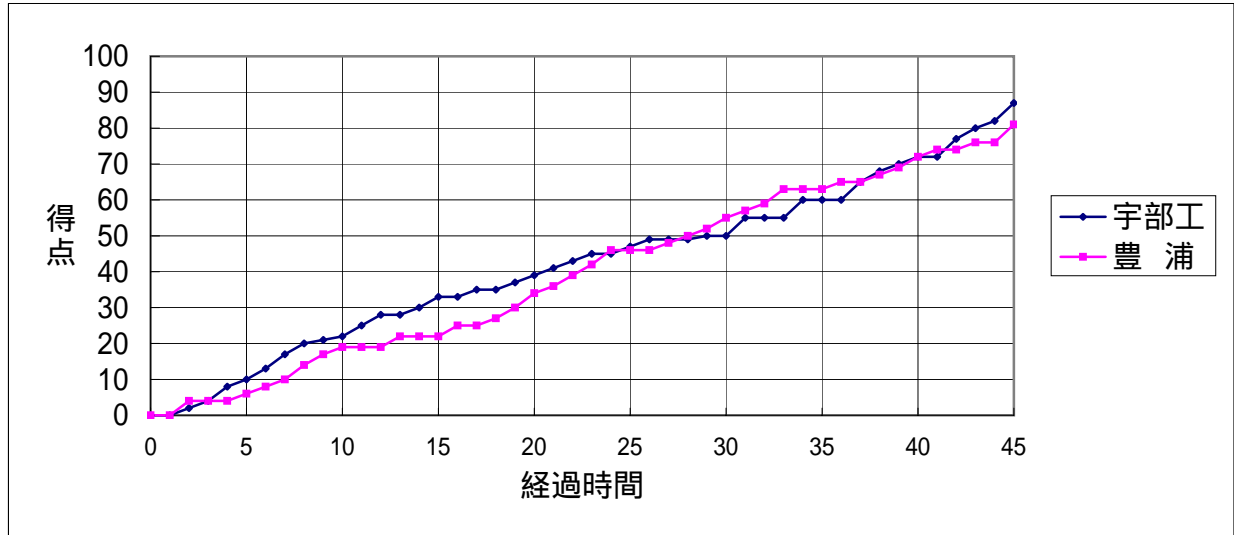


大会名	第37回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会山口県予選会 兼 山口県高等学校選手権大会	N1	9:30	男子準決勝
		宇部工 87	81	豊 浦
期日	2006年(平成18年)11月18日(土)			
会場	やまぐちリフレッシュパーク			

主審 有澤重行 副審 小池正夫



No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	宗野克洋	22	4	3	4	2
5	池田親平	4	0	2	0	0
6	岸本大祐	10	1	1	5	4
7	摩嶋憲樹	13	0	6	1	3
8	三輪寿史	0	0	0	0	0
9	前村明宏	0	0	0	0	0
10	岩木祐弥	24	2	7	4	1
11	森山貴幸	7	0	2	3	4
12	竹中研二	0	0	0	0	0
13	大深聡	0	0	0	0	0
14	三戸義朗	0	0	0	0	1
15	竹本達矢	0	0	0	0	0
16	小森敬介	0	0	0	0	0
17	辰本将和	7	0	3	1	0
18	小藤龍太郎	0	0	0	0	0
コーチ 西村修						
合計		87	7	24	18	

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	高野大志	6	0	3	0	5
5	坂根有哉	17	3	4	0	5
6	佐々木義明	0	0	0	0	0
7	大森俊哉	2	0	1	0	4
8	高橋輝行	4	0	2	0	4
9	白川真	10	0	5	0	2
10	中村健太郎	0	0	0	0	0
11	河本裕一	28	1	10	5	2
12	岡井元毅	0	0	0	0	0
13	徳富斗雷	14	3	2	1	5
14	重宗俊輝	0	0	0	0	0
15	山本佳太	0	0	0	0	0
16	竹中隼也	0	0	0	0	0
17	原幸太郎	0	0	0	0	0
18	岡田時	0	0	0	0	0
コーチ 中村浩正						
合計		81	7	27	6	

はスターター(はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

両チームマンツーマン。立ち上がりは両チーム堅さからなかなかシュートが入らない。試合が動いたのは3分過ぎから。豊浦のミスをつき、宇部工が4連続得点で勢いに乗り11点差とする。豊浦も最後に盛り返し、22-19で1Q終了。2Q宇部工ハイポストを起点にオフェンスを組み立て得点を重ねていく。またディフェンスでも1on1でよく守り豊浦に得点をさせない。残り5分過ぎから豊浦は#11を中心に加点し追い上げ39-34と宇部工リードで2Q終了。3Q宇部工前半と同じくハイポスト中心で、豊浦はセットオフェンス中心で攻め合い、一進一退の攻防が続く。5分豊浦#5のジャンプシュートで逆転。その後、豊浦は確実にシュートを決めていく。一方宇部工はファウルをもらいフリースローを得るが、そのフリースローが入らない。55-50と豊浦リードで終了。4Q出だし豊浦が3Qの勢いそのまま点差を広げるかと思われたが宇部工#10の活躍で逆に点差を縮めていく。残り2分で宇部工逆転に成功。このまま逃げ切れるかと思ったが、残り32秒で豊浦#5の3Pで同点とし72-72で延長に突入。延長最初に得点したのは豊浦。#13のパスカットからランニングシュート。しかし、すぐに宇部工#6が入り返す。その後宇部工#4の2連続3P。たまたま豊浦はタイムアウト。その後ファウルゲームに持ち込むが点差は縮まらず81-87で宇部工が競り勝ち、決勝に駒を進めた。

記載者 枝折健吾 (所属) 山口県高体連バスケットボール部